

あるもの探し を始めよう



「支援者が足りない」「予算が足りない」「学ぶ機会がない」—
地域日本語教育の現場では、そんな“ないもの”に目が向きがちです。
でも、今あるものを見つめ直すことで、新しい一歩が生まれるかもしれません。

人

- 支援者が持つ多様なスキル
- 学習者が持つスキルや経験
- 学校・保育園・福祉等、他分野の専門職
- かつて学習者だった人の経験



場

- 公共施設（図書館など）
- 企業
- 地域のカフェやフリースペース
- 地域のイベント
- 農地を活用した体験の場



モノ・情報

- やさしい日本語
- 多言語資料
- 翻訳アプリ
- 生成AI
- 広報紙や地域メディア



今あるつながりや活動に注目し、小さな気づきを残し、声に耳を傾ける、「～が足りない」を「～ならあるかも」に言い換える。
「あるもの」は少しの動きで見えてきます。



皆さんの周りには何が「あります」か？